

安全・安心な道路作り「吉備津歩道編」～現場にあった謎の石柱～

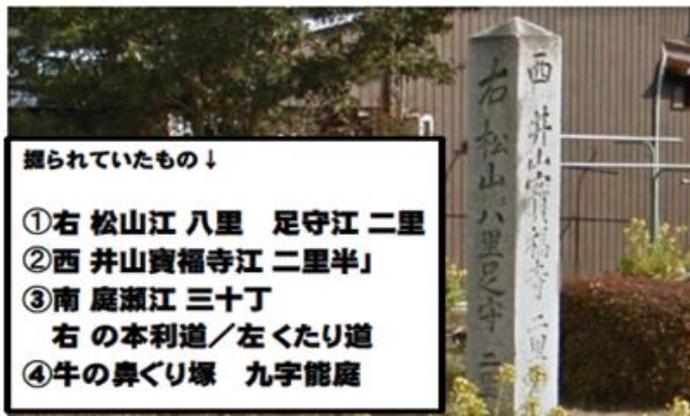
2018.08.29



突然ですが、岡山市北区吉備津の現場で発見したこの石柱！
みなさんはこれが何か知っていますか？

調べてみると これは「道標(どうひょう)」。
交通機関が未発達の際に設置された交通標識みたいなものです。

解説してみると 地名や要所、距離等が記してあることが分かりました！



また、道標の建造はなんと1806年で200年以上前らしいです！
(江戸時代、徳川11代目の将軍が日本を統治していた頃)

調査のついでに道標に記してあった 井山寶福寺と鼻ぐり塚へ！



まずは井山寶福寺。道標によると二里半先。
※一里=3.97キロ なので約10キロです。

そこにはすごく立派なお寺がありました。



なんとここで水墨画で有名な雪舟が幼少期に修行したそうです。

修行せず絵ばかり描いて反省を促すために柱に縛られた雪舟が
足を使って涙で床にネズミの絵を描き、
その絵が見事だったので、絵を描くことを許された。

という逸話も知ることができました★

そして鼻ぐり塚



食用等になった牛の鼻ぐり(鼻輪)が供養のために納められています。
その数、昭和初期に塚が建立されてから700万以上！



ちなみに参拝料は一人100円です。

お寺も鼻ぐり塚も、道標を調べて初めて発見したスポットでした。
昔の人はこの道標を見て色々な所へ出向いていたのかなと思うと感慨深いです。
道標は他にも沢山あるので、調べると意外な発見ができるかもしれませんね♪

最後になりましたが吉備津の現場、冬に取材した時と比べると



こんな感じで歩道の整備が進んでいます！
綺麗な歩道ですね！完成が楽しみです

記事作成: 交通対策課 ペンギン

参考文献

『岡山県歴史の道調査報告書 第1集 山陽道』岡山県教育委員会, 1992.

地図出典

国土地理院ホームページ (<http://portal.cyberjapan.jp>) ※地理院地図(電子国土Web)を加工して使用しています。